



折々のことば

鷲田 清一 1395

昭和7年のいわゆる五・一五事件。狙撃せんと乱入してきた青年将校の姿、時の宰相はこう制したといわれる。直後、「問答無用」の一言をともなう惨殺された。大義がとつたに響かざとおぼしきは、対立の激化そのことになく、意見の対立が対立として認められる場が損なわれたいとであった。そういう形で理路を交わらせる公分母が消失し、社会そのものが壊れたことだ。

大義殺

2019・3・7



お元気ですか。暑い暑い5月です。あちらこちらで運動会があったおめですが、子どもたちや先生方、保護者の方々は大丈夫でしたか。熱中症で搬送された小学生もいたおめでしたね。みなさんお疲れ様です。こんなに急に暑くなると妙に体が疲れます。夜起きていられないくらいです。寝る時の楽しみは、外から聞こえる蛙の声。近くに田んぼがあるので大合唱です。いい声です。

総会のご案内

〈県〉2019年6月29日(土)10時~14時

県教育会館にて。

- ◎総括方針予算等 話し合います
- ◎子ども・学校・仕事について語りましょう
- ◎旅費 弁当 出ます
- ◎申し込み 県教組 017-734-7279まで

×切 6/26(水)

☆夏学のチラシ同封しました。参加したい方は「申し込みの案内」を送り材料をお知らせ下さい。

長いこと不登校の活動を続けていると、ありがたいたいもので、講演の依頼をいただくことがあります。最近はどうも、学習指導要領改訂によって不登校対応も指摘されたことから、学校の校内研修などでお話する機会もあります。学校が不登校を理解を図ることのうれしさを感じながらも、「不登校」という言葉のインパクトが強くて、どうしてもそこに思いが集中してしまうことに対して違和感を覚えていました。そこで今回は、「子どもへのわかり方」ならぬ「不登校のわかり方」を書いてみたいと思います。

不登校について、文科省は「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」と定義づけています。

身体症状が出る

これは、毎日毎日休む子どもや保護者の思いの積み重ねであり、休むまでには過程や背景がある、ということだと思えます。また、欠席数は30日以上と規定されていますが、29日目の欠席と30日目の欠席の間に断絶はありません。それは、5月1日から新しい年号になっても、4月30日とさほど変わらない生活が待っているのと同じことです。そんなあたり前だと思われるかも知れませんが、「不登校」というテーマ設定になると、不思議なくらい30日に焦点が集まってしまうことが多いのです。

休み始めがチャンス?

こうした身体症状を伴っていたとしても、休み始めたときは、まさか不登校になるとは周囲も本人も思いません。こんなとき先生方は「成長のチャンス」だと捉えるケースが多いようです。つまりなんからの心理的な負担はあるけれども「これを乗り越えたら成長できる」と、教員からその旨を教えられると、「そういうものなのか」と保護者も思はずです。そこで教員と保護者がいっしょになって登校を促すと、じつは決定的な不信を生む種になることが少なくありません。

「教育機会確保法」における「休養の必要性」の意義はここにあるように思いますが、休む必要があるのです。どうしても学校では「学校復帰の早期対応」が求められます。でも、「誰にでも起こること」ならそんな対応策が本当に子どものためになるのか、そもそも「問題行動」ではないのだから、もう少し慎重になってもよいのではないかと思えます。

一方、不登校の未然防止もよく言われますが、それはいかに休ませないようにするのかわたしは、いかにうまく休みを確保できるかということではないかと思えます。そのためにも、子どもとの関わりやつながりが子どもにとって大切な学びになりうると思うのです。

（ようじ、あかし）80年生まれ。函館圏フリースクールすまいる。代表、不登校・高認・進学支援にとり組んでいる。元大学非常勤講師。

『不登校新聞』
2019年4月15日号より

子どものわがわが

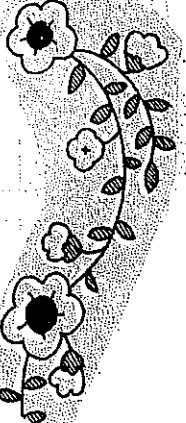
「函館圏フリースクールすまいる」
代表・庄司 証 vol.8

「休み始め」は限界なんです
親も教師も勘違いしています

年に1回の顔合わせです。退養の方もおめし
2019年7月13日(土)11時30分
かすみそう ¥1000 (思石市)にて
申し込み 7月10日(水)×切
尾坂照代さん 090-8252-1694まで

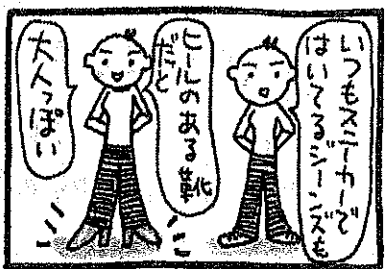
スマイルサポートに勤務して丸5年が過ぎました。学校の保健室で仕事もしていたとき、『寄り添う』とか『共感する』という言葉をよく使っていました。でもここで相談を受けているうちに、それらは実は難しいことなのだと思うようになりました。相手に対して(遠く)とか(それは間違っているんじゃないか)と思ったりするのは、私ができるのは「否定しないで聴く」「思いを受け止める」こと。寄り添う、共感するみたいな気持ちで対応はするけれど、それが「言葉」で簡単に口に出来なくなりました。

文責 阿部陽子 スマイルサポート(017-722-3749)



いつもより2センチ高いヒールの靴をはく。

CHECK!



小さいコトモが「だっこ」とせがむのは甘えもあるんだけど、大人にだっこされると、目線が高くなっていろんなものが見えるという密かなたくらみでもあります。まあ、そこまで急に目線を高くしなくても、たったの2センチ高いヒールをはくだけでも、「へえ」といさへらしい視界は変わります。私は身長164センチなのですが、2センチ高くなる

ると166センチ。今まで話していた相手との視線の合い方の感じが、ちょっと違うもの。自分のまわりの人に与える印象にも、変化が

「あれ、今日は何だか鬱陶気が違う?」自分でもいつもよりちょっと遠くまで見えると、得した気分。

ところで女性はヒールの高さを自由に選べるけど、男性は2センチ高くするってどうするのかな? 「シックレットブーツ」?

いずれにせよ、いつもより高いヒールをはく時は、しっかり背筋を伸ばしてクールに歩きましょう。くれぐれもひざが曲がっておしりがぼこんと出ないよう。



●気持ちから、変えてみる!

たった2センチでも、視野が広がる。

